

1 週間の時間割例

[2 年次] 基礎専門科目を中心に実験・実習などを選択

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	生涯学習社会論／ 生涯学習指導論	数理科学	Interactive English I		心理学
2	分析化学	海洋生物学Ⅱ	教育思想史	Effective English	物理数学
3		生物学実験／ 地学実験	Natural Science	教育心理学	化学概論Ⅱ
4	生物海洋学	生物学実験／ 地学実験	情報処理論		物理学概論Ⅱ
5	海洋生物学Ⅰ	生物学実験／ 地学実験	海洋生物学Ⅲ	博物館教育論	

[3 年次] 注) 主に3年次以降は4学期制となり、週2回講義がある。物理学、化学、生物、地学、情報解析学系の専門科目が開講され、専門分野を自由に選択できる。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1		環境動態学Ⅱ			環境動態学Ⅱ
2	環境生命化学Ⅰ	海洋生物学Ⅳ	環境生命化学Ⅰ		海洋生物学Ⅳ
3	物理海洋学Ⅱ 環境生命化学Ⅱ	海底科学Ⅱ	物理海洋学Ⅱ 環境生命化学Ⅱ	キャリア形成論Ⅱ	海底科学Ⅱ
4	化学海洋学 海洋生態学Ⅰ	環境情報解析学Ⅱ	化学海洋学 海洋生態学Ⅰ	博物館学Ⅳ	環境情報解析学Ⅱ
5					海洋生物学実験Ⅰ

取得可能資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）
 - 高等学校教諭一種免許状（水産）
 - 技術士補
 - 学芸員
 - 三級海技士（航海）※
- ※ 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、学部及び、海洋科学専攻科(p.43)を修了すれば、筆記試験が免除されます。

卒業後の進路

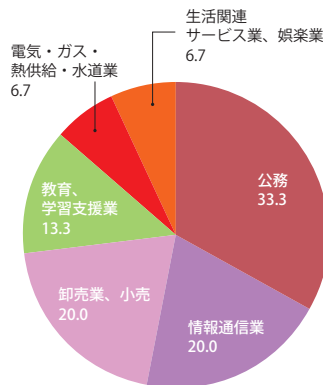
令和3年度卒業生(%)

大学院進学	63.9
海洋科学専攻科	8.2
就職	24.6
その他	3.3

就職先

アルファ水工コンサルタンツ、エニグモ、NTTコムウェア、オリックス水族館、海上保安庁、CLINKS、高校教員、合食、水産庁、東京電力ホールディングス、東洋信号通信社、東洋水産、東洋冷蔵、都道府県水産試験場、都道府県庁及び市区職員、全国漁業協同組合連合会、ナフコ、BML フード・サイエンス、三浦工業、三井住友海上火災保険、臨海 等

就職先業種



令和3年度卒業生産業別就職状況(%)
※進学等を除く学部卒業者の実績
※大学院修了者の就職状況は P.44 参照

学科担当教員の研究分野・内容

■ 物理海洋学

海洋における物理現象の探求と変動予測、黒潮、親潮、極域、海洋風成大循環、深層循環、海洋中の微細混合

■ 化学海洋学

海洋における化学物質の循環について研究

■ 生物海洋学

水圏生物の生産と環境要因との関係を研究

■ 地球流体力学

大気海洋循環力学、海洋波動、潮汐、沿岸流、渦力学、回転水槽実験

■ 気候変動力学

大気海洋相互作用と気候変動、極域海洋氷変動

■ 資源情報解析学

生物資源の生態と環境要因（場の環境）との関係

■ 衛星計測学

衛星リモートセンシングによる海洋環境変動要因の解明

■ 資源環境動態学

海洋の物理過程と生物生産の動態との関係の究明

■ 環境測定学

海洋の光および濁り環境の動態

■ 環境数理解析学

数理モデルを用いて科学の諸現象のメカニズムを探求

■ 生元素循環学

海洋生物群集が駆動する生元素循環について研究

■ 海洋無機化学

水圏における元素の溶存状態の解析やその分布などの分析

■ 海底生物地球化学

海底における生物代謝および地球化学のプロセスの研究

■ 海底物質科学

海底における金属元素の動態や分布に関する鉱物学的・地球化学的研究

■ 藻類学

海藻、淡水藻、珪藻等の分類、形態、生活史、生態等

■ 無脊椎動物学

水域の無脊椎動物の分類、形態、生活史、生態等

■ 魚類学

魚類（仔稚魚）の形態、摂餌生態、群集生態等

■ 浮遊生物学

浮遊生物の分類、生理、生態、生活史

■ 鯨類学

鯨類（クジラ・イルカ等）の生態、形態や適応戦略等

■ 海洋生態学

海洋生態系内での生物の機能と動態

■ 個体群生態学

水圏生物個体群の生態や個体数密度等の定量的研究

■ 海洋生化学

有用な環境微生物・酵素・遺伝子の探索、解析、改良、応用

■ 水圏生態化学

海洋生物由来の医薬品候補物質や毒素の化学構造と作用

■ 生体機能利用学

海洋と環境に関わる生体化学機能の解明とその有効利用